



今日の表紙  
日光和楽踊り



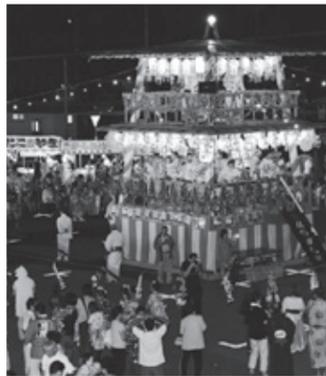
8月7日(金)、清滝地区の古河電気工業株式会社日光事業所で、日光和楽踊りが開催されました。

このイベントは、大正天皇が日光精銅所を訪問された後、祝賀の席で自然発生的に歌い踊られたのが始まりとされています。

平成26年度は大雪被害の影響で会場での開催ができませんでしたが、今回は日光事業所や従業員たちの努力によって無事開催に至りました。

この日は心配されていた雨も降らず、装いも新たに設置されたLEDによるきらびやかな照明の下、多くの参加者たちが踊りを楽しんでいました。

清滝から家族で訪れた小坂さんは「2年前の盛り上がりには比べると少し寂しい気もしますが、やっぱりお祭りはいいものですね。和楽踊りは日光の夏の風物詩ですね」と、楽しそうに話してくれました。



**足尾町納涼祭**  
8月13日(木)、毎年恒例の足尾町納涼祭が足尾庁舎前で開催されました。かつての足尾銅山での労働を歌にした「直利音頭」のお囃子に合わせ、多くの参加者たちが盆踊りを楽しみました。盆踊りの他に、「平成版足尾かるた」の大会やフラダンスなども行われ、会場はにぎわいを見せました。石橋町から来た高山さんは、「3年ほど前から毎年来ています。楽しいですね」と話してくれました。



**クマレクチャー**  
8月15日(土)、日光湯元ビジターセンターでクマレクチャーが行われました。クマの調査経験を持つ講師の方が、参加者の質問などに答えたり、参加者たちが熊の頭骨や毛皮に触れたりして、クマについての知識を深めました。瀬川から来た沼尾さんは、「近所でもクマの目撃情報があり、クマについての知識が必要ですね」と話してくれました。



**夏休み夜の昆虫観察会**  
8月21日(金)〜23日(日)、「夏休み★夜の野外授業 昆虫観察会」が川俣地区で開催されました。夜間、紫外線に集まる昆虫の習性を利用したライトトラップを設置すると、ミヤマクワガタや翼長15センチを超えるヤマユガなど約30種類、1,000匹近くの昆虫が集まりました。「これだけ多くの昆虫がいるのは植生が豊かな証し。栗山には豊かな自然環境が残っている」と主催者は熱く語っていました。



**輪王寺新能**  
8月22日(土)、日光山輪王寺で新能が開催されました。日光東照宮四百年式年大祭の年に当たる今年、表参道に会場を設け東照宮に向かつて公演を奉納しました。公演の途中で雨が降り、最後の演目「葵上」は、通常よりも時間が短い「半能」となってしまうが、集まった約700名の観客たちは、篝火に照らし出された幽玄の世界に酔いしれていました。



**議場コンサート**  
議会を身近に感じてもらうと、8月7日(金)、抽選で選ばれた90名を前にマロニエアンサンブルによるコンサートが行われました。クラシックや歌謡曲、唱歌など17曲が披露され、議場に弦楽器の美しい音色が響きわたりました。議員席で聴いた赤羽さん(森友)は、「すばらしい演奏会でした。議場に足を運ぶ、よい機会になりました」と話していました。



**オーロラファンタジー**  
8月8日(土)〜26日(水)に湯西川温泉の安らぎの森自然公園で、オーロラファンタジーが開催されました。今回で7回目の開催となるイベントで、音楽と共にレーザー光線で創作した色とりどりのオーロラが夜空を染め上げました。イベント中は、延べ3,500名が訪れ、幻想的な光景をうっとり見つめていました。



**スプラッシュユウオーター**  
8月9日(日)、大谷川グリーンパークでスプラッシュユウオーターが開催されました。このイベントは、日光の水にスポットを当て、水を活かした楽しいまちづくりを目的に「歩きたくなるまちづくり委員会」が企画。今市工業高等学校の生徒が作った水鉄砲の他、消化器型の水鉄砲での当てをするなど、午前中は子どもたちが遊び、午後は大人がチー



ム別の水鉄砲バトルを行いました。子どもたちは、手作りの水鉄砲を手に水をかけたり、かけられたり。男の子も女の子も全身ずぶ濡れで大はしゃぎでした。子どもたちと一緒に水鉄砲作りや委員会を手伝った同高等学校の中村実季さんは「地域の人と一緒にやることは、新鮮で楽しかった。また、参加したいです」と声を弾ませていました。

倉ヶ崎ふれあい夏まつり



8月8日(土)、倉ヶ崎自治会主催の倉ヶ崎ふれあい夏まつり「北陸新幹線(ミニ)がやってくる」が、今年度末に開通予定の市道倉ヶ崎長島線を利用して、開催されました。

このイベントは、地域の活性化を図ろうと自治会の役員が中心となり、初めて開催されました。

イベントでは、JR日光駅やJR大宮総合車両センターの協力の下、ミニチュアの北陸新幹線「かがやき号」(4両編成、定員20名)が、道路に敷かれた約150mのレールの上を走行し、地元の子どもたちや親子連れが歓声を上げながら乗車していました。

その他にも、地元自治会による模擬店が出店し、まつりを盛り上げた他、ザリガニやカブトムシを釣るコーナーが子どもたちの人気を集めていました。

ミニ新幹線に乗車した、柿沼胡春ちゃん(9歳)は、「ミニ新幹線には初めて乗ったけど、とても楽しかったです」と笑顔で話してくれました。

